



1



2



3



4



5



6

保 幼児体育・子育て支援活動

- ・遊びを通じた活動の体験
- ・交流会の企画立案、進行



7

保 幼児体育・子育て支援活動

生活文化科2年生製作：お昼寝アート

子どもたちの気持ちを理解する難しさ
当日までの準備やチームワークの大切さ



8

衣 ウォーキング講座

- ・ZOOMを活用してポージングの練習

衣装の魅せ方
舞台上での演出



9

福祉 小林こすもす支援学校との交流会

- ・製作した衣装で撮影したPV披露
- ・支援学校の生徒よりダンスと応援歌のプレゼント

披露した映像は最後に紹介します！



10

多くの体験的な学びを通して身に付けた
知識や技術を地域のために活かしたい！

飲食店
カフェ

保育園
幼稚園

美容室
図書館

福祉
施設

**コロナ禍だからこそ
私たちにできること**



11

食分野

S A P
H A N N A H
Kokoya de kobayashi
中華料理 正一



12

SAP

えびの市
若手農業者団体

- ～野菜の栽培～
- ～野菜の販売～
- ～調理実習～
- ～事業所見学・体験～



阿多・川上・徳留・中條・板元

13

活動内容

- ・校内栽培
- ・各農園農場の見学
- ・野菜の販売



五ねぎ
たまちゃん

ほてとくん

梅
シロマル

14

ZOOMの活用・収穫した野菜の活用

コロナ禍の状況で
直接ご指導いただくことが
難しい時期


農家の方々の苦労を実感し、えびの市の食べ物に
恵まれた環境へのありがたさを実感



15

HANNAH

酒井優希 加藤さき



Open

16

名物:おしりパン

様々なデザート



17

活動内容

接客や仕込み
材料の準備など

私たちがこのようにいきいきとした
働き方をしたいという将来像

刺繍入り
コースター



18



19



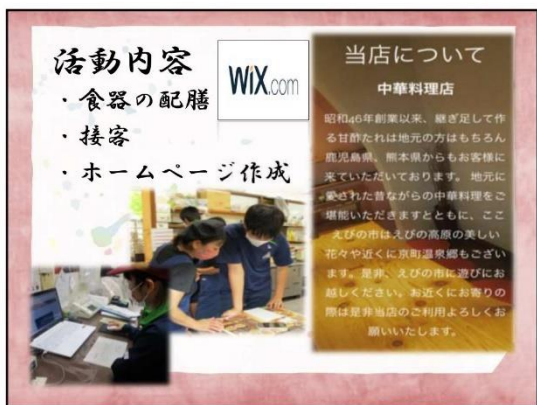
20



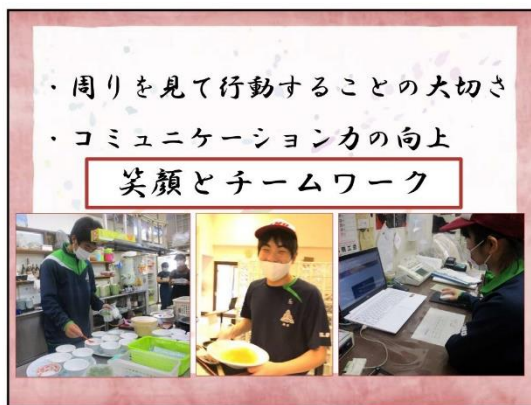
21



22



23



24

食分野

- ・チームワークは最高の仕事を生み出す
- ・食べ物、商品の一つ一つには生産者の方々の思いが詰まっている
- ・食べることができる環境を当たり前と思わず、感謝していきたい



25



保育・教育分野

飯野保育園
第二和光幼稚園
飯野小学校

26



飯野保育園

西川瑠衣 竹本愛美 田口彰



27


活動内容

- ・行事ごとの制作
- ・お布団たたみ
- ・おやつ配膳など先生方のサポート




28


牛乳パックで
カエル飛びおもちゃ




夏の壁面作り



- ・周りを見て積極的に行動すること。
- ・子どもたちと目線を合わせて話すことが大事。



29



第二和光幼稚園

梯こゆき
迫奈々恵
児玉来衣菜

30

活動内容

- ・**事業所での活動**
- 掃除
- 園児のお手伝い
- 読み聞かせ
- 先生方のサポート



知育布絵本 絵合わせゲーム

SDGs
12 つくる責任 つかう責任



31

- ・保育士・幼稚園教諭になるために必要なスキル
(コミュニケーション能力・対応力
体力・観察力)
- ・子どもたちにとって安心安全な環境整備



32



33

活動内容

- ・屋休みの交流活動
- ・清掃活動
- ・授業補助




34

6年生エプロン作り動画



35

- ・先生方との関わりを通して、授業には多くの準備があることを知った。
- ・児童との関わりを通して、臨機応変な対応力を身に着けることができた。



36

保育・教育分野



- ・準備の大切さに気づくことができた。
- ・子どもたちの目線に立ち、お互いに声を掛け合いサポートしあう中で、**チームワーク**が大切だと実感した。
- ・環境に配慮した**製作**や**動画作成**など今までにない取り組みが実践できた。

37



サービス・福祉分野

Riz HAIR
えびの市民図書館
ほうよう

38



39

活動内容

- 洗濯
- パーマ用ペーパーひろげ
- 洗い物
- ポイントカード作成



40

コースター & 刺繍入リエプロン



美容師という夢を実現させるため…

今の自分に足りなかったことを見つめ直し
積極性を身に付けることができました！

41

えびの市民図書館



上熊須葵・瀧田真実



42

活動内容

- ・本の配架・整理
- ・イベントの飾りつけ
- ・本の箱詰め
- ・しおり製作



43

図書バック製作



- ・利用者の方への心配りが大切だと気づいた。
- ・本を読みたくなるような館内の飾りつけで、子どもから大人まで楽しめる“しかけ”がたくさんあった。

44



ほうよう

＊加藤寧々 ＊杉元香菜



45

活動内容


- ・食事介助の体験 ・声掛け
- ・食事、おやつ、コップの配膳
- ・体操運動



46

果物コースター

猫の杖置き




活動を通して…
人生の先輩方が築き上げてきたからこそ
 今の**平和な社会**があるのだと感じることが
 できました。

47

福祉・サービス分野

- ・人と人が直接関わり合うことが、**人の温かな気持ち**を生み出すこと
- ・相手を思い合った感染症対策を講じながら**心と心の繋がり**を大事にすること



48

地域支援活動
～ファッションショー～

12月23日えびの市文化センターで発表会実施
 地域の皆様に感謝の思いを伝えたい…

テーマ「わ～平和への願いと感謝を込めて～」
 わ：和 令和 平和 人と人との輪



49



50

コロナ禍だからこそ私たちにできること

学んだことを活かし
 直接活動できない期間… **製作活動**

不要な物の活用や環境への配慮…
SDGsへの取り組み

ICTネットワークの活用…
リモートでの交流
ホームページ作成
動画作成

51



52



2021/04/28
 PHOTO: KAWAKAMI

R3年度チーム生文科

ご清聴ありがとうございました！

53

10 学びのアウトプット

探究活動の成果をアウトプットする機会もつくってきた。校内におけるグローバル学習成果発表会をはじめ校外での発表会にも参加して自らの学びを振り返る貴重な機会になった。

①グローバル学習成果発表会



今年度は、えびの市文化センターを会場に対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施した。全国各地の高校や大学、企業の方も参加し「地域貢献」「地域探究」「地域支援」それぞれの活動について、生徒主体の活動成果を報告した。withコロナの中でも実践を重ねてきたことで深い学びにつながっていたのが分かる成果発表会となった。



なお、当日はテレビ取材もあり様子を右のQRから視聴できるようになっている。

②宮崎県高校探究活動発表会、宮崎県立高校フェスタ（普通科総合コース）

県内の探究活動に取り組む高校が集まり初開催されたポスターセッションに総合コース3年生が参加した。多くの高校生の前で発表するのが初めての生徒も多かったことや他校の活動に触れることができたことで研究の方法やプレゼン力などを学ぶ貴重な機会となった。また、パネルディスカッションも行われ本校生5名が代表として登壇し本校の活動について県内に広く知ってもらおう機会にもなった。



ポスターセッションには大勢の高校生観覧者



パネルディスカッション

③MSEC フォーラム、全国高校生 SBP チャレンジアワード、全国高校生マイプロジェクトアワード宮崎 summit、全国高校生ボランティアアワード、ひなた場（普通科探究コース）

全国高校生 SBP チャレンジアワード 三井化学特別賞

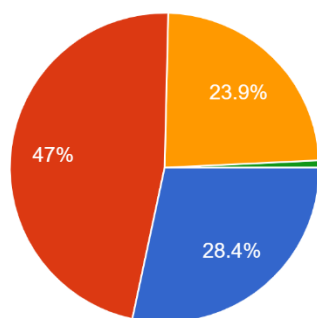
全国高校生マイプロジェクトアワード宮崎 summit 特別賞

④課題研究発表会（生活文化科）

11 本事業における生徒の変容

高校1年次と高校3年次を比較（2019年度入学生対象）してみると、本事業において生徒たちが大きく変容していることが見受けられる。

自分で調べ物をしたり、学校外の人に話を聞いたりすることをしてきた。



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

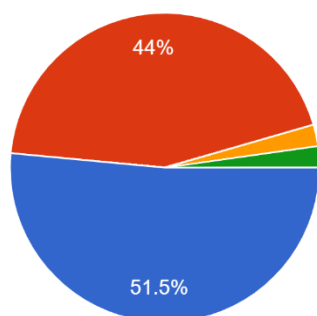
39%



高校3年

75.4%

友人や授業のグループで協力しながら活動や学習を進めてきた。



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

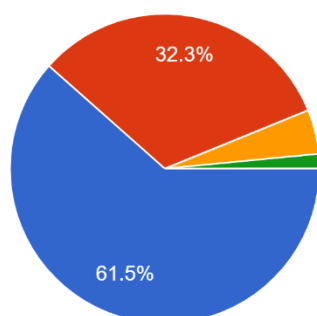
73.6%



高校3年

95.5%

地域、高校には挑戦する人に対して、応援する雰囲気があった



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

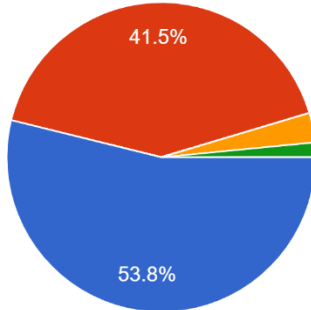
60%



高校3年

93.6%

地域から大切にされている雰囲気を感じる



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

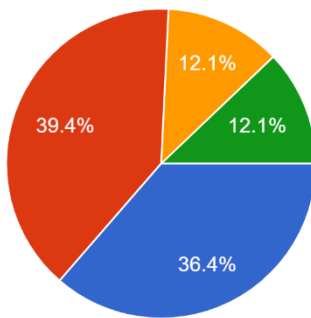
81.6%



高校 3 年

95.3%

地域に、尊敬している・憧れている大人がいる



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

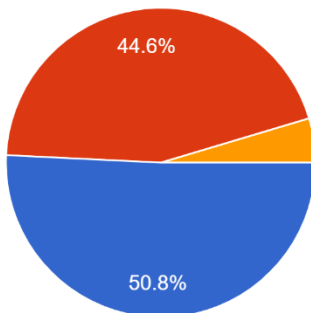
59%



高校 3 年

75.8%

自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会があった



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

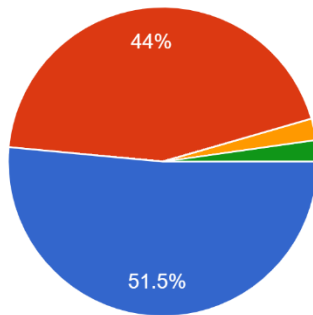
50%



高校 3 年

95.4%

友人や授業のグループで協力しながら活動や学習を進めてきた。



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

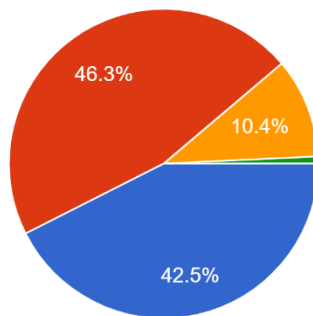
73.6%



高校 3 年

95.5%

自分の考えをまとめたり、友人やグループとの振り返り、学習成果の発表をしてきた。



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

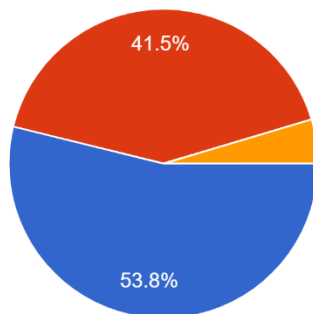
62.7%



高校 3 年

88.8%

自分とは異なる意見や価値を尊重することができる



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

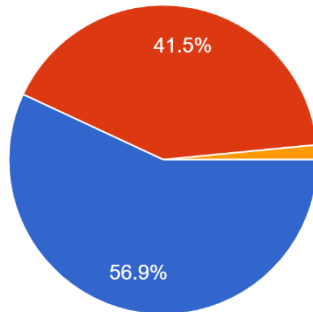
76.6%



高校 3 年

95.3%

相手の意見を丁寧に聞くことができる



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

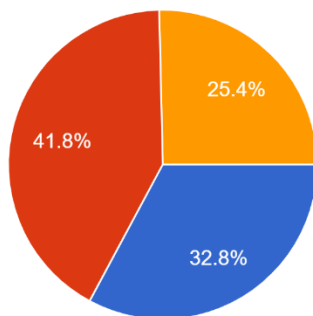
77.9%



高校 3 年

98.4%

地域の資源や魅力、課題の解決方法、日本や世界の課題の解決方法について考えてきた。



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

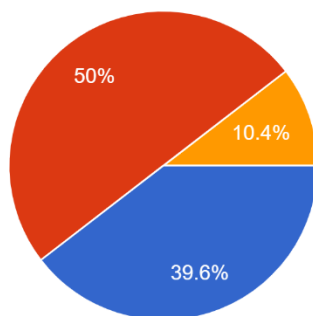
52.8%



高校 3 年

74.6%

地域や社会で起こっている問題やできごとに関心がある



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校 1 年

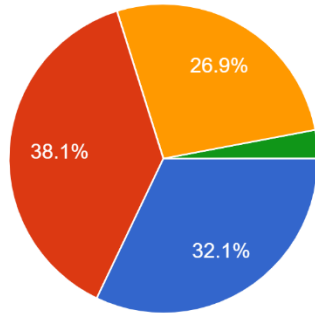
64.9%



高校 3 年

89.6%

(一度は地域を離れても) 自分の育った地域で働きたいと思う



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

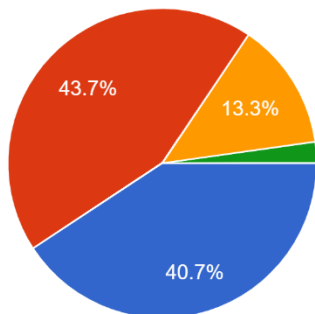
42.9%



高校3年

70.2%

自分の将来について明るい希望を持っている



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

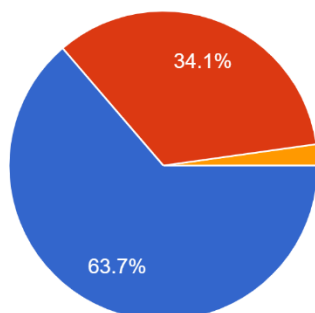
76.6%



高校3年

83.7%

飯野高校の地域活動を経験できてよかったと思う



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校3年

97.8%

将来は、自分の育った地域で高校で行ったような何らかの活動をしたと思う

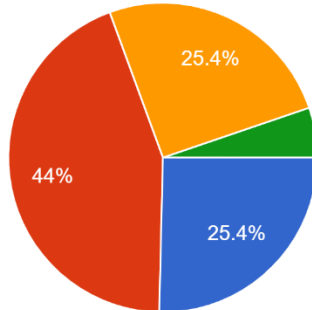
高校 1 年

70.1%



高校 3 年

69.4%

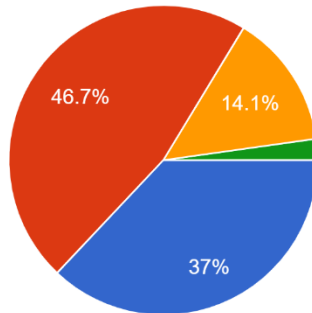


- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

休校中のオンライン学習があったのはよかった

高校 3 年

83.7%

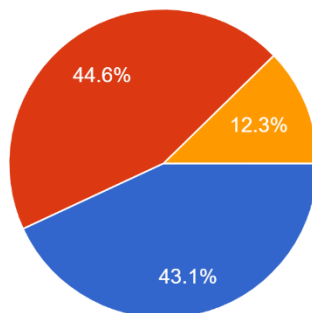


- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

学んだことを実際に応用してみることができた

高校 3 年

87.7%



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

飯野高校で学んだことで、自分ができることやしたいことが増えている

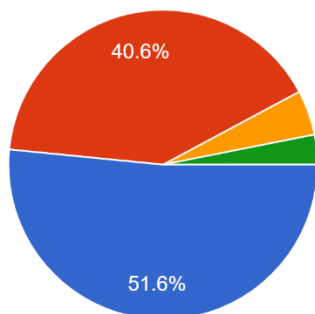
高校1年

80.5%



高校3年

92.2%

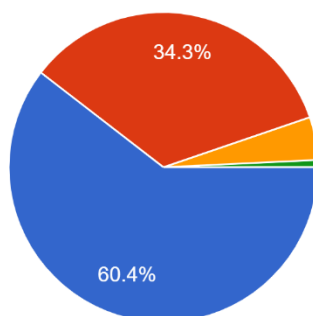


- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

飯野高校の3年間の様々な活動で成長できたと思う

高校3年

94.7%

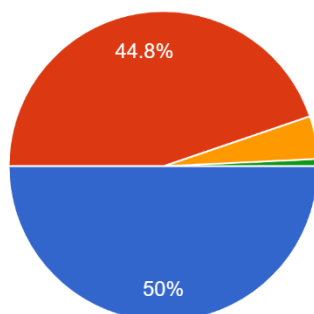


- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

飯野高校で自分の目標とする進路実現ができた

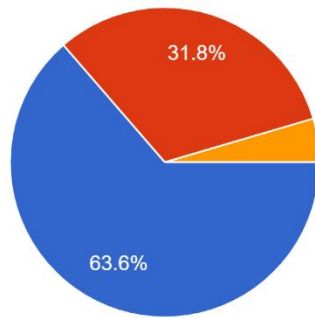
高校3年

94.8%



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

飯野高校に入ってよかったと思う



- かなりそうだ
- そうだ
- あまりそうでない
- そうでない

高校1年

75.3%



高校3年

95.4%

地域貢献・探究・支援活動を通して学んだこと（生徒回答）

- ・人との繋がり方
- ・人との対話
- ・トラブルの対処
- ・チームのリーダーとしての行動
- ・話し方
- ・表現の方法

人との繋がり

仕事内容など。

また、直接外での大人の人と関わってみて（ほうれんそう）が本当に大切だと感じた。

活動するためになにが大事かがわかった

自分自身のことを見つめ直すいい機会になった

- ・地域で活動している人の大変さやその活動の大切さを学ぶことが出来ました。
- ・地域支援活動の中で将来自分がやってみたいことを見つけることが出来ました。
- ・地域支援活動の中で仲間との協力がとても大切だということを知ることが出来ました。

環境について、目標、やりたいこと、

ちゃんと考えて活動すること、

コミュニケーション能力 積極性

地域支援活動を通して、コロナ禍であり、その中で実習に行ける回数も少なくなったりしましたが、自分達ので1から何か物事を考えて達成するというやりがいと楽しさを学びました。失敗をしてもその失敗を次に活かす大切さを感じました。また、実習と後半の活動を通して、仲間と意見を出し合って助け合う力も身に付ける事が出来ました。最後の学習成果発表会では、緊張しながらではありましたが、自分達が学んで来た事を十分に発表し、文章もしっかり覚える事が出来たので良かったと思っています。このような機会を頂

けた事・学べた事感謝しています。この学べた力をしっかり将来働く際に活かされたら良いと思いました。ありがとうございました。

- ・LGBTQ+についてあまり知られていないこと。
- ・LGBTQ+という言葉は知っているが意味まで知ってる人が少ないこと。
- ・日本の学校ではLGBTQ+の人に向けた対応が進んでいるところとまだあまり進んでいないところの差が結構あること。

忍耐力・精神力・コミュニケーション能力・仕事をする事の大変さ

仕事の大変さやその職業でのやりがい、コミュニケーションの大切さなど学ぶことが出来ました

コミュニケーション能力 対応力 臨機応変に行動すること

活動するにあたって、準備の大切さを改めて感じる事が出来た。また、臨機応変に対応出来て、自分も視野を大きく広げることが出来て良かった。

支援活動を通して私は最初は事業所で分からない事がありやりできない作業が多かったですが実際にやって見て行動する事が大切だと学びました。

また、自分が関心を持っていなくてもまずやって見ることによって新しい気づきを得ることが出来ると思いました。

・挑戦してみる事の大切さ

・協調性

・積極性

・コミュニケーション能力

・忍耐力

・できないってあきらめから入らずに

活動を始めた自分自身が楽しむことの大切さ

・人間関係(人との関わり)

・思いやり&気配り

・臨機応変に対応する力

・自分の活動の何を1番に伝えたいのか工夫したりする能力(見やすさ・分かりやすさ)

・失敗を経験すること(失敗を怖がって逃げないことの大切さ)

・責任感の大切さ

・1つの事柄からでも探求することで得ることのできる学びの面白さ

・報告、連絡の重要性

・計画性

・先を見越しての効率的な活動の仕方

・リーダーとして周りへの指示の仕方

活動する上で、1人でできないことでも、様々な人と協力すればできる範囲が広がった！！

私たちは~駅を変える~をテーマに活動していて、イルミネーションなどの企画を実行してきた。観光列車などの企画がコロナの影響で中止となってしまったけど、こういった企画は、地域の方々など、様々な人の

協力があってこそできていたんだと改めて思う。

また、探究活動を通して、プレゼンテーションの作成や発表、人と協力すること、まとめる力を身につけることができた。

事業所に行き行く前はコミュニケーション能力は自分にはある方だと思っていたが、実際に大人の人や地域の人と関わることで自分にまだまだコミュニケーション能力が足りないと思いました。ですので、これからは日々の生活でたくさんの人と話将来保育士になった時に子供たちの前で話せるようにコミュニケーション能力を付けたいと思いました。そして、地域の方の為に何かをするってことで、実習に行った際に課題をみつければそれを支援することによって地域の方に喜んでもらえるんだと学習することができました。

対話の重要性

課題を俯瞰して考えることの大切さ

コミュニティを広げることの大切さ

何をどうすれば達成できるか考えることができた

将来の夢に必要なスキル、積極性

地域支援活動を通してたくさんのことを学びました

正一に行かしていただき社会について吸収できました。挨拶や基本のことを教わり将来に生かしていきたいと思えます

地域に携わることで多くの人達と関わり合い、自分が体験できなかった貴重な経験を通じて社会でも通用するぐらいに成長する必要があると思いました、コミュニケーション能力や技術といったことに活用出来るので貢献することは自分のためにもなると思いました。

自分にどんなスキルが必要になり、これからどのように頑張っていく必要があるのか明確に知ることが出来ました。

- ・色々な視点から物事を見て、考える
- ・今の自分たちに実行できることを考える
- ・地域活性化のためには自分たちの意見だけではなく、地域の方などより多くの人々の意見を取り入れること

地域支援活動では、えびの市の農業について学ぶことが出来ました。自分たちで農家の方々のところに実際に行き、体験させていただくことで、作物を育てる難しさや、生き物を育てる大変さを改めて知ることができ、食への感謝の気持ちをよきもつようになりました。特に学校での作物の栽培では、土づくりから始め、肥料の分量や農薬の種類まで教えていただき、作物は時間や手間をたくさんかけて美味しいものができるのだと感じました。また、地域支援活動では、クラス全体で取り組むこともたくさんあり、クラスのチームワークも大切だと思いました。

コミュニケーションと行動力を発揮できた。

人に接することができた。

1年間保育園で学んだことは年齢が違うことで接し方や話が全然違って難しかったことです。相手に分かりやすく話ができるように言葉を考えたり顔の表情で会話をすることが大事だと知りました。

地域探究を通して挑戦することの楽しさ、とりあえずやってみる！ことの大切さを学びました。飯野高校に入らなければ出会わなかった方や考え方、また自分に出会うことが出来、3年間ワクワクして活動することが出来ました。活動をする中でチームのみんなや大人の人と協力したり自分の考えをほかの人に発表したりし、積極性やコミュニケーション能力を高めることが出来たと考えています。他にもパワポなどこれからも必要となってくる力も身につけることができたのではないかと考えています。これも、挑戦したからだと思っているので、今思うとたくさんの挑戦する機会のある飯野高校に入学できてうれしいし、誇りに思います。未来カフェでチャンスは自分の周りにたくさん落ちているということも学んだので飯野高校で身につけた力を使ってこれからもワクワクすることを忘れず、多くのことに挑戦したいです！

お客様に喜んで貰えるように、意見を出し合ったり、工夫をすることの大切さ

目上の方との接し方

実行・実践することの大切さ

頼ること・人を巻き込むことの大切さ

言葉にすることの大切さ

自身のキャパシティ

トーク力 論理的思考力

多くの人と繋がることの大切さや何事もまずはやってみることが大切ということ学んだ

- ・コミュニケーション力
- ・積極性
- ・継続力
- ・耐久性

- ・多くの人に知って欲しいことは自分から発信すること
- ・伝えることの難しさ、大切さ
- ・少しでも興味を持ったら挑戦すること
- ・挑戦した分だけ、自分とは違う考え方や様々な視点を学ぶことができたこと
- ・相手への配慮
- ・相手に伝わるパワーポイントの作り方
- ・日本や世界の現状(LGBTQ+)

事業所に行き、私は、将来保育士になりたくて、保育園を選び、将来に繋がることを学べてよかったです。他にも A クラスで決めて募金をしたりなど、自分たちで考え行動して人々の役に立てたことがとても嬉しかったし、して良かったなって思いました。これからも地域に役に立つことをして行けたらいいなと思います！

何事もチャレンジ、積極性が大事

地域の温かさ 飯野高校の様々な取り組みでの経験 えびの市の良さ

起業について

幅広い視点を持つこと

自分の知らない地域の魅力を知り、地域について考えることが出来てとても楽しかったです。また、仕事の体験をさせて頂く中で食物を育てることの大変さ、命、人との繋がり大切さを学ぶことができた良かったです。

コロナ禍でLCAがあまり出来なかった時でも学校で同じ事業所の人達と、どうやったら子供たちを楽しませることが出来るのかと言う企画を考える事が出来ました。

- どのような工夫をしたら地域の人に喜んでもらえるか
- 自分から動いて情報を得ることの大切さ
- 得た情報の分かりやすい伝え方
- 同じ活動をしているメンバーと協力して進めていく協調性

介護職の大変さと、コミュニケーション能力の大切さ

- ・えびの市の現状や紛争の状況をより深く知ることが出来た
- ・高校生だからできないという事は無い、何か違う視点から考えれば少しずつ貢献する事が出来る

地域貢献活動を通して、食育の大切さや食材を大切に扱うことを学ぶことができた。

早めの行動大事！！

人脈大事！！

知識大事！！

- ・自主性がついた。
- ・自分の視野を広げたり、考えを深めたり出来るようになった。
- ・想像できない人との繋がりを持つことが出来た。
- ・人と交流することで、多様な考えを少しずつ受け入れられるようになった。
- ・ゴールに向けての計画性が正確になった。
- ・早め早めに終わらせることを意識出来るようになった。
- ・分からないことを分からないままにせず、人に聞いたり調べたりすることが習慣化できた。
- ・人に真剣な話をするに対して、抵抗が少なくなった。
- ・話の繋げ方が前に比べると上手くなった。
- ・話したことの無い人と話すことが苦じゃなくなった。
- ・同じ目的を持った人達と真剣に話すことで、地域のことをもっと好きになれた。
- ・挑戦することが楽しいと思えるようになった。
- ・挑戦しないと成功も失敗も得られないと気づけた。（「とりあえずやってみる」精神を理解し受け入れることが出来た。）
- ・本気でなにかに取り組んでいる人には、見方も出来るし手伝ってくれる人がいると知れた。
- ・飯野高校に入学し、卒業できることが誇らしいと思える。

自分の住んでいる地域では、あまり知られている訳では無いけど色々な人の手がかかっている特産物などがあることをしれた。活動として開催することはできなかったが、少しは周りに知ってもらえることが出来たと思う。

介護施設の大変さ

コミュニケーションの大事さ
小さい子との接し方など学べたし自分から行動することが身についたので良かったです。
コミュカ
地域の人とのコミュニケーションで今までより高年齢の方とも話せるようになった。 いちいち指示をされないので自分で仕事を見つけ積極的に活動することが出来るようになった。
地域貢献で実際に活動することによって目に見えていなかったことを自分たちで解決出来る力が高くなった と思いました。
高校では学ぶことのできない5つ以上年下の子への接し方や実際に体験して分かる先生の仕事の大変さなどを 沢山学ぶことができました。
怯まずにチャレンジすること！
人と繋がることの大切さ、アクションを起こす大切さなどたくさんを学びました。アクションをひとつ 起こすとほんとにたくさん成長できるし気持ちもワクワクして探究することができました！
自分の語彙力の無さと視野を広げてなにか行動に移すことの大切さ
人前で話すための事前の準備だったり、どんなパワーポイントが見やすいのか、人をまとめる大変さだ ったり、話し方・自分のやりたいことを実際に形にして実践することのできる楽しさを学びました。
結構巻き込まれてくれる大人っているんだなあって思いました。私もそういう大人になりたいです。
積極的に話しかけること 色んな人と話すときんな考えに触れることができたこと 身近な人や先生に頼ってもいいこと
人脈がいかに大切か
人とのコミュニケーションや、周りを見る力
計画しても思い通りにはならないこと
●地域の人と関わる機会があり、自分の持ち味のコミュニケーション力を活かしてたくさんの人と話すこと によって自分が知らなかった事に視野を広げることが出来たので楽しかった ●自分たちで課題解決をすることによって、次の課題を見つけることに新鮮さを感じた！！
どの活動をするにしても、責任や覚悟をしっかり持つようにすること。 目的や目標をしっかり持つ。
人との関わり方 繋がり的重要性 準備の大切さ メモをとることの大事さ
自分で何か考えて活動することが今まで無かったけど、支援活動をする中で事業所のためにできることを 考えて自分から動く機会ができた

12 成果の普及方法・実績について

①各研修会やメディアを通じて本校の取組みを発信している。

- ・ グローカル学習成果発表会の開催（県内外、市内中学校、地域住民 約 100 名参加）
- ・ 全国グローバルリーダーズ summit の実施（県内外から約 60 名参加）
- ・ 宮崎県立都城商業高校職員研修
- ・ えびの未来カフェの開催（本校生 + 地域住民 90 名参加 ※オンライン）
- ・ MRT（宮崎放送）みらい みらい まなび隊「生活文化科の取り組み」授業紹介
- ・ UMK（テレビ宮崎）のびよみやざきっ子 「地域探究活動」紹介
- ・ UMK（テレビ宮崎）スーパーニュース 「ひなた場の取り組み」紹介
- ・ MRT（宮崎放送）ニュース Next 「地域探究活動」紹介
- ・ MRT（宮崎放送）ニュース Next 「探究活動」紹介
- ・ 宮崎日日新聞掲載「地域貢献活動」「地域探究活動」「地域支援活動」
- ・ 視察受入（熊本県立松橋高校、熊本県立八代高校、長崎県立上五島高校、熊本県立高森高校、静岡県立川根高校、青山学院大学、宮崎県企業同友会児湯支部）
- ・ 熊本県マイプロジェクト教育関係者研修会
- ・ 朝日中高生新聞「地域探究活動」
- ・ 探究 2022 掲載「探究活動」 大学新聞社
- ・ 月刊先端教育掲載
- ・ 東京都桜堤中学校とのオンライン交流
- ・ 岡山県津山 4 高校連携講座における事例紹介
- ・ 南九州大学との連携協定

報道資料

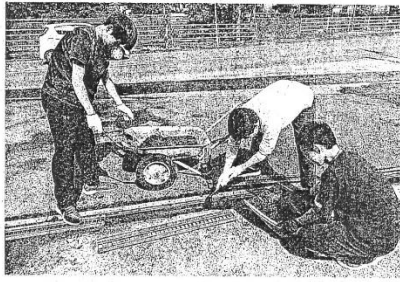
飯野高生手作りカレーで笑顔に

子ども食堂、新聞配布も

えびの市の飯野まっくら協議会が7月29日、飯野地区コミュニティセンターで「飯野コンスマイル食堂」を開いた。同市の飯野高の生徒が授業で育った野菜を提供し、調理も担当。約80人の児童らが、出来たての食事に舌鼓を打った。同校から10人が参加し、自分たちで育てたジャガイモやタマネギも使って、1人50人分の食事を準備。児童やスタッフらがカレーやサラダを笑顔で味わった。飯野小2年の松田菜摘さん（8）は「友達と一緒においしいカレーが食べられて楽しかった」と話した。また、同日は宮崎日日新聞社と、宮崎日日新聞販売所でくる「宮日会（馬場専樹会長）が、参加した。児童全員に「宮日」でも新聞を無償配布した。（村永哲哉）

R.3.8.4 宮崎日日新聞(夕)

大雨で浸水被害 えびの・真幸地区



飯野高生 復旧手助け

えびの市・飯野高の生徒有志10人が11日、10日の大雨で浸水などの被害に見舞われた向市真幸地区で、片付けなどのボランティア作業を行った。普段から授業や学校生活で地域と深く関わっていることから、被害復旧の手助けになればと、同校教師や生徒で企画。10日後の3年の今里さん18人が呼ばれて、大雨で浸水し施設、泥の清掃などに取り組む飯野高生（同校提供）

泥の清掃、片付けに汗

ひ掛け、休日の翌日に3年生8人、1年生1人が集まった。参加者は同日午前9時から正午まで、浸水した方ソリソタンドやバイク、自転車販売店などで泥の清掃や水に漬かった資材の片付け、工具磨きなどの作業に汗を流した。今里さんは「大変だったが、『ありがとう』と言葉をかけてもらい、やって良かったと感じた。今後も災害が起これば、ボランティアに取り組みたい」と話していた。★フレミヤにも掲載

地域医療 関心持とう

飯野高生 従事者と意見交換



西諸地区の高校生と医療関係者らが対話した医療人材育成講座

ひなたスマイル

咽喉科（えびの市）の杉原 梅北賢さん（17）は「今後、純次医師が講演し、『年齢も向かひの形で、地域医療や立場を超え、地域医療について真剣に考える時期にきている』など話した。その後は数人ずつに分かれて医師や看護師、医療関係者と生徒がフリートーク。「看護師が患者の一番身近な存在として関わりに対応している」「医師、看護師だけでなく、理学療法士や理学療法士との密な連携が特に必要」な医療現場の話を生徒は熱心に耳を傾けた。会場を務める同校3年の

しまきり

医師を志す高校生の会、飯野高生は「くまー」地域医療関係者ら約30人が参加。医師による話やフリートークを通じ、地方における医療の現状について理解を深めた。地域医療の分野で人材不足が懸念となる中、若者に関心を持ってもらおうと、同会が企画。杉原君

R3.8.1 宮崎新聞

飯野小 高が合同田植え

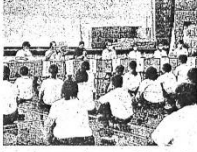
えびの市の飯野小と飯野高は24日、同市原田の水田で合同の田植え体験を行った。写真、同小5年生と同高生活文化科の1年生、地域住民ら計約100人が参加した。両校の児童生徒は、JASの市青年部などの指導で、水田に1列に並んで作業を開始。泥に足を取られるなど手植えに苦戦しながら、約1時間かけてヒノヒカリの苗を植えた。



さん（17）は「泥で汚れて大変だったが、友達や高校生と協力して植えることができて楽しかった」と話していた。

えびのJ.C. 飯野高でフォーラム

えびの青年会議所（J.C.）は7日、えびの市・飯野高（長谷川岳洋校長、248人）で、フォーラムを開いた。写真、1年生約80人が講演などを通じ、自身や地域の将来について考えた。第1部では実行委員長を務めた同J.C.の本田野英さん（26）と日向J.C.のOB、三浦精一さん（61）が「なんのために」と題して講演。自身の経験を振り返りながら「今できることをやる」「できない理由を言わない」というメッセージを込めて話した。



第2部は本田さんと三浦さん、同校生ら7人が「夢の叶え方、進め方」とのテーマで意見を交わした。堀口ななさん（15）は「さまざまな話を聞けて、とても勉強になった。今後の学生生活の中で生かしていきたい」と話した。フォーラムは高校生の郷土愛を育み、地元を盛り上げる意識を高めてもらうこと、2015年から毎年開いている。

飯野高えびの市公営会開講

えびの市の公営会開講の本年度卒業式は日向市の飯野高長谷川岳洋校長が出席し、式で、永山新一校長が飯野高生の活動に地域の人は感謝し、応援する市としても高野サポーターとして、いよいよさつ、生徒代表の野野山さん15人が学力の向上を目指し、仲間と切磋琢磨しながら努力し、伸びていくことを誓った。

6/16(水) 宮田

6/17(木) 宮田

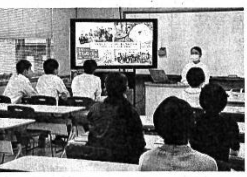
ニューシラランドと通称授業

えびの市・飯野高（長谷川岳洋校長、248人）で10日、ニューシラランドの小学生の通称授業があった。写真、同校生ら計13人が参加し、互いの地元学校を英語で紹介し合い、交流を深めた。同校に紹介した飯野高OBの紹介で実現。総合英語の授業の一環で行われた。生徒らはパワーポイントで学校生活や向市の環境などを紹介。ニューシラランドの学校や文化について説明し、目を輝かせ、交流を深めていった。西田君さん（17）は「異文化に触れ、もっと知りたい」と話していた。



子育て支援団体 飯野高生に講演

えびの市・飯野高（長谷川岳洋校長、248人）で15日、同校の卒業生や生徒13人でつくる子育て支援サークル「NOGIKU」による講演があり、生徒ら約10人が活動について理解を深めた。写真、同市の高野学校生、宮田久代さん（19）が、市内外で開足、20年には全国の市長や議員、市民による政策立案・実現の事例を表彰する「第15回（2015）ベスト大賞」（実行委主催）で優秀政策提案賞に輝いた。同日は団体を立ち上げた



同市の高野学校生、宮田久代さん（19）が、市内外で開足、20年には全国の市長や議員、市民による政策立案・実現の事例を表彰する「第15回（2015）ベスト大賞」（実行委主催）で優秀政策提案賞に輝いた。同日は団体を立ち上げた